

主催：一般社団法人北海道環境保全技術協会

令和6年度第1回環境保全技術セミナー

日時：令和6年8月23日（金） 14:00～16:40

開催方法：ハイブリッド（会場及びオンライン（Zoom ウェビナー））

会場：札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 16F 3ACU-A 1613 中研修室

【セミナーの内容】

1. 『セミナー趣旨説明』

一般社団法人北海道環境保全技術協会
技術委員会エネルギーワーキングリーダー 伊藤 俊裕

2. 『北海道における温泉資源の現況と最近の動向について』

[概要]

北海道は豊富な温泉資源を有しており、その湧出量は全国の約1割を占めている。北海道の温泉は歴史が浅いものの、豊かな自然環境や食材とともに観光資源の基盤となっており、近年増加しているインバウンドの目的でも上位に入る。一方、北海道は積雪寒冷地という地域特性から、古くより温泉熱の利用が盛んであり、我が国における地熱・温泉熱利用の先進地とも言える。本セミナーでは、温泉資源の現況と最近の動向について紹介する。

[発表者]

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所 資源エネルギー部 部長 鈴木 隆広 氏

3. 『熱水・温泉水・坑廃水からの金の選択回収技術開発』

[概要]

世界的な資源高が続いており安定的な経済発展を阻害するリスクが増大している。そこで、新たな鉱脈として熱水・温泉水・坑廃水に含まれる有価元素の回収に挑戦しているが、様々な元素が溶け込んだ自然相手の水から極微量の有価元素を選択的に回収する難しさがある。我々は回収コストに見合う手法としてラン藻を原料にした回収材に着目し、これまでに熱水・温泉水・坑廃水で有意な結果を得ているので現状を紹介する。

[発表者]

株式会社IHI 技術開発本部 技術基盤センター 物理・化学技術部 主査 福島 康之 氏
国立研究開発法人海洋研究開発機構 海洋機能利用部門 海底資源センター グループリーダー代理 / 主任研究員 野崎 達生 氏

会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催となりました。会場参加36名、オンライン参加84名で、各講演ともアンケート結果からも参考になったという意見が多数あり大変好評でした。

